

へばだば

56

編集・発行：自立生活センターPingあおもり・就労継続支援B型事業所スタジオとまと・特定非営利活動法人ピアネット
038-0011 青森市篠田1-8-1 エムズコーポ101/tel. fax：017-761-2770/e-mail：ping@ping-aomori.jp
http://www.ping-aomori.jp/ping_page/index.htm 発行責任者／佐藤 広則

「へばだば」＝津軽弁で、「じゃあね」というような意味。

障害者差別解消法施行から1年 ～今の私が思うこと～

溝江 広騎

2016年、4月1日は「障害者差別解消法」が生まれた日です。あと2年後には法律の見直しがありますが、ボーンとしてみると、2年はあっという間です。忘れないように、今の私が考えていることを書きたいと思います。

【今の私が思うこと】

私の夢は「障害者」と「健常者」の心の垣根ない社会を作ること。「障害者だからこうしてあげなきゃ」、「かわいそう」ではなく「人」と「人」として、必要な部分を支え合う。

「法律があるから差別してはいけない。」という意識でなく、自然と差別のない社会が理想だと考えています。そこに向かう過程として「差別解消法」ができた意義は大きいと考えています。

例えば、自転車に乗る時も初めに親が乗ってみせて、ブレーキの掛け方や方向感覚を教える。補助輪を付けて慣れさせてから、「抑えてるから大丈夫」って言いながら、そっ

と離す。あんなに怖がっていた子どもが、1人でスイスイ乗れてしまう。(自分は乗れませんが笑)「障害者差別解消法」は補助輪のような存在じゃないかと思うのです。私たち障害者が、地域に出て「差別にはこういうものがあるよ。」「障害のある人も社会に出るために、こんな配慮がされているよ。」と経験して伝える、親みたいな役割にならなくてはいけないと思います。

2019年まで、積極的に街に出て「どんな差別があるのか」「どんな合理的配慮がされているか」を数多く体験して、「障害者差別解消法」を育てていきたいと考えています。

【施行後の青森県内での動き】

青森県では、県庁職員・病院・教育委員会・警察用の対応要領も作成しています。また、「障害を知るためのガイドブック」ができたり、障害者差別に関する相談機関が設置されたりしました。

青森市では「障害者差別解消法」に基づく条例作りの話し合いを進めています。



障害者差別は、「誰かがやってくれる」「他人任せ」ではなりません。全国の人みんなで協力して取り組んでいければと思います！

56
号
も
く
じ

障害者差別解消法施行から1年～今の私が思うこと～	1	創作短編小説「子守唄」	4
連載企画「差別解消への道」③	2	職員紹介	4
とりあえず きてみてほしい土曜企画	2	自立生活センターPingあおもりFacebook	4
とまとの収穫祭	3	お花見のお知らせ	4
PSCAジャーナル	3	編集後記	4
”シュミ活”参加者大募集!!	3		

連載企画 「差別解消への道」 ～③ 障害者差別解消法の課題について～

(記 白戸駿平)

障害者差別解消法の課題は、どこにあるのでしょうか？

この法律の課題は、(1)障害者差別を解消するための法律であるのに、差別の定義があいまいだという点です。具体的な差別の例が載っていないことも一つだと思います。(2)『障害者に対して「不当な差別的取り扱い」をした事業者に対し、主務大臣（厚生労働大臣）は報告を求めることが出来ますが、報告をしない、うその報告をした事業者には、二十万円以下の過料に処されます。(障害者差別解消法 第26条)』という、こんな罰則がありますが、お金で何とかなれば良いということでは無いと、個人的には思います。

(3)大きな課題として、この法律があまり知られていないという点です。名前は知っていても、中身はよく知らない人、名前さえも知らない人がたくさんいます。(私の出

身校の後輩の一人に、「障害者差別解消法って知ってる？」と質問しました。「知らない」と返ってきました。)

あるアンケートでは、70%以上の人が知らないと回答したそうです。

知らせるためには、障害者が地道に、自ら声をあげて行動していくこと、行政にきちんとした対策を取ってもらうことが重要だと思います。



(イラスト 白戸駿平)



とりあえず 来てみてほしい 土曜企画 ～最近の土曜企画を2つご紹介します♪～

溝江 広騎

1.【映画『障害者イズム』上映会】

2月18日、『障害者イズム ～このままじゃ終われない～』上映会を開催しました。この上映会は、①脳性麻痺者3人の実例を通して、障害者の自立生活に対する具体的なイメージを持ってもらう。②健常者・障害者を問わず語り合うことで、新たなつながりを作るとともに、交流を深める。という2つを狙いとして実施しました。この映画

は2003年に公開され、キネマ旬報ベスト10に入賞した作品で、脳性麻痺者3人が地域生活を目指す様子を追ったドキュメンタリーです。15年前の作品ですが、地域で生活するために必要な行動や大まかな流れ、何より「地域で暮らしたい」という想いを持って行動する大切さなど、今に通ずる部分も多いと思います。12名の参加者から

は、「自立」とは何か、自分の勤めている施設ならどう対応するか考えさせられた。」「この企画のように、「考える機会」があることが重要だと思った。また参加したい。」などの感想をいただき、この企画の開催意義を感じました。ご協力頂いた『株式会社ドキュメンタリー・ジャパン』様、参加者の皆様、ありがとうございました。



アイスブレイク



イズムを感じる…。



それぞれの想いを出し合う

2.【訪問マッサージ無料体験会】

3月11日、「からだ元気治療院青森店の西代表、吉田様、施術師の小笠原様をお招きして、マッサージ体験会を開催しました。体験会には8名が参加、実際に肩や腰、腕などのマッサージをしていただきました。

小笠原さんの「痛み・コリにピンポイントで効く施術」はまるで魔法のよう。体験者から気持ちよすぎてあくびの連続でした。「からだ元気治療院」様、参加者の皆さま、ありがとうございました！



みんなで記念撮影☆

1月

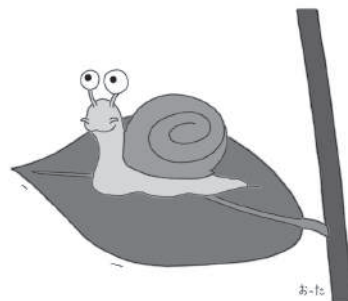
とまとの収穫祭

1月のとまとの収穫祭ではカラオケに行きました。以下参加者の感想です。



おいしそうなランチメニュー

●ラザニアを食べた。味は美味しかったがイメージしていたものと違って、クリームソーダを作ってもらったが、歌うことに集中しすぎて、クリームソーダが溶けてテーブルの上が大惨事になった。トイレは多目的トイレがあり、広くて普通に行けた。また同じ企画があったら参加したい。(白戸玲)



あーた



マラカスをご機嫌で振る堀江さん

●カラオケ合衆国でマラカスを振り、途中からかぶり物をして盛り上げて楽しかった。(堀江)

2月

2月の収穫祭では節分の豆まきをしました。

今年はとまとの利用者の中にどなたも年男・年女の人がないため、鬼の役の適任者がいなくおとなしめの節分になりました。



電動車いすサッカーチーム

PSCAジャーナル

プレーヤーサポーター大募集中です。

電動車いすを持っていない方でも、共用の車いすがあるのでプレイできます。

練習場所：一高養体育館

時間：17:00～18:30

※都合により練習の中止など変更があることもあります。

参加希望の方は事前連絡頂けると幸いです。

詳しくは e-mail:tomato@ping-aomori.jp

代表：佐野まで

PSCあomorい年間練習予定

年	月	日	曜日	時間
H29	4	21	金	17:00～ 18:30
	5	12、26		
	6	16、23		
	7	7、14		
	8	25		
	9	8、29		
	10	6、20		
	11	10、24		
	12	8、15		
	1	26		
H30	2	9、23		
	3	16		

“シュミ活”参加者大募集!!

ピアネットでは、今年度の土曜日企画として、今話題の“シュミ活”を行います!土曜日の午後のひと時、家から出て同じ趣味を持つ仲間と楽しく過ごしませんか?

活動日：毎月第2・第4土曜日

時間：13:00～16:00間のお好きな時間

※実施日は変更の可能性あり

場所：スタジオとまと

参加費：無料

対象者：絵を描くことが好きな人! (18歳以上)

持ってくるもの：自分で使う絵の道具

注意点：①絵の教室ではありません。②絵を描くことが好きな者同士が集まり、ちょっとおしゃべりしながら絵を描いてゆっくり過ごす活動です!

③駐車場は4台分あります。車でお越しの方は事前にお知らせください。

《お問い合わせ》

NPO 法人 ピアネット

TEL/FAX 017-763-4755

(担当：中村、溝江)



創作短編小説

子守唄

作 ミューズ(とまと利用者)

ある青年が、音大を目指し勉強していた。名前はヨハネス。18才。

彼は両親が音楽好きだったので小さな頃からいろんな音楽に囲まれて育った。

彼の特技はピアノで、上手といえば上手だったが。彼の夢はピアニスト。だが、その前に大学で学びたいと思っていた。

彼の先生は、いつもこういう。「ただ、上手なピアニストにだけはなるな。」

彼は悩んだ。「どういうこと?」と。でも答えは彼の小さな頃の思い出の中にあった。

よく母が歌っていた「子守唄」母の声は決してきれいではないが、ヨハネスは母の歌う

「子守唄」が大好きだった。

試験当日、課題曲は「ブラームスのワルツ」と自由曲を弾く試験が行われる。

ヨハネスが選んだ曲は、母が歌ってくれて大好きだった同じブラームスの「子守唄。」

彼は、小さな頃の思い出と母の声を思い出し、音の一つ一つにこめる。

数日後、結果が届いた。「感動した。」ということとともに届いたのはヨハネスに春が来たことを告げる合格の知らせだった。

職員紹介

いのくぼ まさる
名 前:猪久保 卓

生 年 月 日:昭和49年2月9日

趣 味:カラオケ、ネットショッピング

好 物:ラーメン、ゴルフ、チョコレート

抱 負:2/1よりお世話になっております、いのくぼと申します。様々なことがあり大変だった厄年がようやく終り、これから皆さんのパワーを貰い運気を上げていけたらと思っています。今後ともよろしく願います。

お花見のお知らせ

・日時:4月28日(金)

・場所:合浦公園

※雨天時は、車内にて桜を見学後、イトーヨーカドーとなります。

・送迎あり。

定員には限りがございますので、参加希望の方はお知らせ下さい。



自立生活センター Ping あおり
Facebook



編集後記

■ 青森第一高等養護学校の卒業式に出席させていただきました。自分と10歳離れた皆さんの卒業式を見て、「俺もすっかりおじさんになったな…」としみじみ感じました。(溝)

■ 早く、春になってほしい今日この頃です。(S.S)

■ パソコンデスクが欲しいなあ〜(成)

■ 春はもうすぐそこ、だんだん暖かくなってきましたね。花見がとっても楽しみです!でも食べ過ぎには注意したいものです。(紬)

ぎには注意したいものです。(紬)

■ WBCが終わった。日本はベスト4。4年後に雪辱を果たしてほしい。(S)

■ フェイスブックもラインもツイッターもほとんど返事はしないけど怒らないでね(広)

■ 仙台周辺は桜満開。新幹線の中からお花見をしてきました。(M)

■ 今年に入ってからしよっちゅう風邪ひいてる気がします。悪化しないように気をつけます。(西滝)